



S.Setoguchi

THE YOMIURI MILERS CUP

第56回 読売マイラーズカップ (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 59,000,000円 24,000,000円 15,000,000円 8,900,000円 5,900,000円
付加賞 700,000円 200,000円 100,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 57⁺、牝馬2⁺減、2024.4.20以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2⁺増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増、2024.4.19以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増(ただし2歳時の成績を除く)

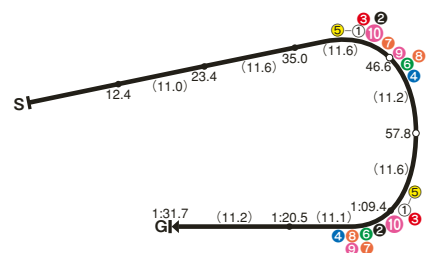
2025.4.27 京都 晴・良 芝1600m (国際) (確定)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (増減)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ロングラン	騾	7	57	岩田康誠	1:31.7	6-7	33.3	478(±0)	10.2⑤	和田勇介(美浦)	111
2	③	ジュンブロッサム	牡	6	58	武 豊	1/2	8-8	33.2	482(+4)	2.1①	友道康夫(栗東)	112
3	⑤	セオ	牡	5	57	岩田望来	1 1/2	2-2	34.2	498(+2)	4.4②	上村洋行(栗東)	107
4	②	ニホンピロキーフ	牡	5	57	田口貴太	1/2	6-6	33.9	486(-4)	4.8③	大橋勇樹(栗東)	106
5	⑦	グラティアス	牡	7	57	北村友一	1/2	5-4	34.1	494(-12)	41.9⑨	安田翔伍(栗東)	
6	①	ホウオウリアリティ	牡	7	57	団野大成	アタマ	8-8	33.6	484(+2)	43.4⑩	井上智史(栗東)	
7	⑤	エアファンティタ	牡	5	57	M.デム-ロ	クビ	10-10	33.1	470(+10)	29.0⑦	池添 学(栗東)	
8	⑨	レイベリング	牡	5	57	和田竜二	4	4-2	35.0	484(-12)	26.5⑧	鹿戸雄一(美浦)	
9	④	ビーアストニッシュ	牡	6	57	西村太一	3 1/2	1-1	35.8	476(-4)	35.9⑨	堀内岳志(美浦)	
10	⑥	ミスタージーティー	牡	4	57	坂井瑠星	ハナ	2-4	35.5	472(+2)	9.7④	矢作芳人(栗東)	

単勝⑩-1,020円(5⁺%) 複勝⑩-190円(4⁺%) ③-120円(1⁺%) ⑩-130円(2⁺%) 枠連②-⑩-700円(3⁺%)

馬連③-⑩-970円(4⁺%) ワイド③-⑩-360円(4⁺%) ⑧-⑩-530円(7⁺%) ③-⑧-230円(1⁺%)

馬単⑩-③-3,080円(10⁺%) 3連複③-⑧-⑩-1,190円(2⁺%) 3連単⑩-③-⑧-10,820円(29⁺%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.0 - 46.6 - 57.8 45.1 - 33.9

アラカルト

- ・岩田康誠騎手はマイラーズC初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算114勝目
- ・和田勇介調教師はマイラーズC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算4勝目
- ・ヴィクトワールピサ産駒はJRA重賞通算9勝目
- ・7歳馬の勝利は12年シルボート以来13年ぶり、通算5回目
- ・驕馬の勝利は初
- ・ロングランは安田記念(G I)に優先出走できる

ロングラン Long Run

騏 鹿毛 2018.2.9生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・梅澤明氏 美浦・和田勇介厩舎
馬名意味・長く元気に走ってほしい

ノッテビアンカFR系 F16-c

ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007	ネオユニヴァース 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA ボイントッドパスGB
	ホワイトウオーターアフェアGB 栗毛 1993	Machiavellian Much Too Risky
ノッテビアンカFR Notte Bianca 鹿毛 2013	Kendargent 芦毛 2003	Kendor Pax Bella
	Biancarosa 鹿毛 2007	Dalakhani Rosa di Brema

5代までのインブリード：Halo S4×S5

INTERVIEW

荒木杏里氏(社台ファーム・事務局)

ひと皮むけてくれた印象です

GⅢを勝ったばかりでのGⅡ挑戦、しかも初距離ということで半信半疑な面もありましたから、ゴール前で馬群を割ってきたシーンでは本当に大きな声が出ました。完全に一皮剥けてくれた印象です。梅澤オーナーご夫妻にはいつもお世話になっており、前走でようやく重賞勝ちをプレゼントできたと思ったらGⅡも完勝。安田記念もスタッフ皆で応援したいと思います。

S.Katsura



「新馬」が急浮上だ。

ダートで未勝利、1勝クラス戦を勝ち上がり、ジャパンダートダービーにも駒を進めた(9着)本馬は、3歳時の秋に去勢された後、芝路線に転じて、2、3勝クラス特別を連勝。オープン入り後はなかなか勝ち切れないレースが続いたものの、キャリアを重ねながら着々と地力を強化し、前走の小倉大賞典で念願の重賞初制覇を果たした。デビュー26戦目にして初のマイル戦に矛先を向けたこの日も、コース及びレースレコードに0秒4差と迫る高速決着にしっかりと対応し、十分な適性と充実ぶりをアピール。ソウルラッシュが主役と目される安田記念戦線に、同じ7歳の

父ヴィクトワールピサ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、仏、首15戦8勝(ドバイワールドC・首G_I、皐月賞_G_I、有馬記念_G_I、中山記念_G_{II}、弥生賞_G_{II}、ラジオNIKKEI杯2歳S_J_{II}、日本ダービー_G_I3着、ジャパンC_G_I3着)、12年から供用、21年輸出(トルコ)〔代表産駒〕ジュエラー(桜花賞_G_I)、**ロングラン**(本馬)、**アサマノイタズラ**(セントライト記念_G_{II})、**スカーレットカラー**(アイルランドトロフィー府中牝馬S_G_{II})、**ウィクトーリア**(フローラS_G_{II})、**コウソクストレート**(ファルコンS_G_{III})、**ウォーリングステイツJPN Warring States**(バーバリアンクラシック・独_G₃)、**ブレイキングドーン**(ラジオNIKKEI賞_G_{III})、**レッドアネモス**(クイーンS_G_{III})、**ミッシングリンク**(TCK女王盃_J_{III})、**ミヤジコクオウ**(鳳雛S・L、レパードS_G_{III}2着)、**アクアミラビリス**(エルフィンS・L)

母ノッテビアンカFR

仏5戦1勝(アイソノミー賞・L2着、クリテリウムドサンクルー_G_I3着)、16年輸入

ダイワセントライト(17 牡父Le Havre)持込 中央7戦0勝、障害5戦0勝

ロングラン 本馬(18 騏父ヴィクトワールピサ)中央25戦7勝(マイルズC_G_{III}、小倉大賞典_G_{III}、ディセンバーS・L、レインボーS、三木特別、小倉大賞典_G_{III}2着)、地方1戦0勝 獲得総賞金220,288,000円

(19 牝父ハーツクライ)

ランプシー(20 牡父ハーツクライ)中央12戦2勝

パンジャ(21 牡父ゴルドシップ)中央16戦2勝 ②

ボンヌソフレ(22 牝父レイデオロ)中央7戦1勝(フィリーズレビュー_G_{II}3着)

②

モヴシエラ(23 牡父レイデオロ)

※24(死産)、25(不受胎)

祖母ビアンカローザ Biancarosa

アイルランド産 英、伊3勝(マリナレ共和国賞・伊L)

ノッテビアンカFR(13 前出)

トウキョウゴールド Tokyo Gold(18 牡父Kendargent)北米、伊、仏3勝(伊ダービー_G₂、クリテリウムデルエスト・仏L、ベルモントダービー招待S・米_G_I2着)

曾祖母ローザディブレマ Rosa di Brema

イタリア産 伊6勝(伊オークス_G_I2着、アルキメディア賞・L3着)、**ローザデルドバイRE**(マリオインチェーザ賞・伊_G₃、輸入繁殖牝馬)、**ロランド** Rolando(コンビエーニュ大賞・仏L、ピアッツァーレ賞・伊_G₃3着)の母

マイル路線に7歳の『新星』が急浮上

春の京都開催の開幕を飾るマイル重賞・マイルスCで主役の脚光を浴びたのは、ジュンプロッサム。昨秋の富士S、ソウルラッシュを豪快に差し切った星が光る6歳馬が断然の支持を集め、京都金杯の4着馬セオと前年の3着馬ニホンピロキーフ、5歳両馬がこれに続いた。しかし中心勢力と目された3頭の前に立ちはだかったのは7歳の古豪。5番人気のロングランが2月の小倉大賞典に続く重賞連勝を飾った。

先連役を務めたのは3年前のスプリングSの覇者ヒアストニツシド。出足に優ったセオは緩みのないラップを連発して飛ばす逃げ馬を先に遣り、2番手を進む。ニホンピロキーフは中団

につけ、大外枠からインに入り込んだロングランと岩田康誠騎手のコンビがその内を追走。ジュンプロッサムは2頭の3馬身ほど後ろ、後方2番手でじつくりと末脚を温存した。

坂の下りで前に接近、直線入口で先頭に立ったセオは鋭く加速して2、3馬身のリードを開く。対して岩田騎手は脚を溜めて4コーナーを回り、直線に向くと先に仕掛けたニホンピロキーフの内を狙ってスパート。エンジンに火がついたロングランは、ベテランのソツのないリードに比べて非凡な決め手を繰り出し、押し切りをはかるセオを一気に呑み込むと、外から追い込んできたジュンプロッサムの強襲も抑えてゴールに飛び込んだ。